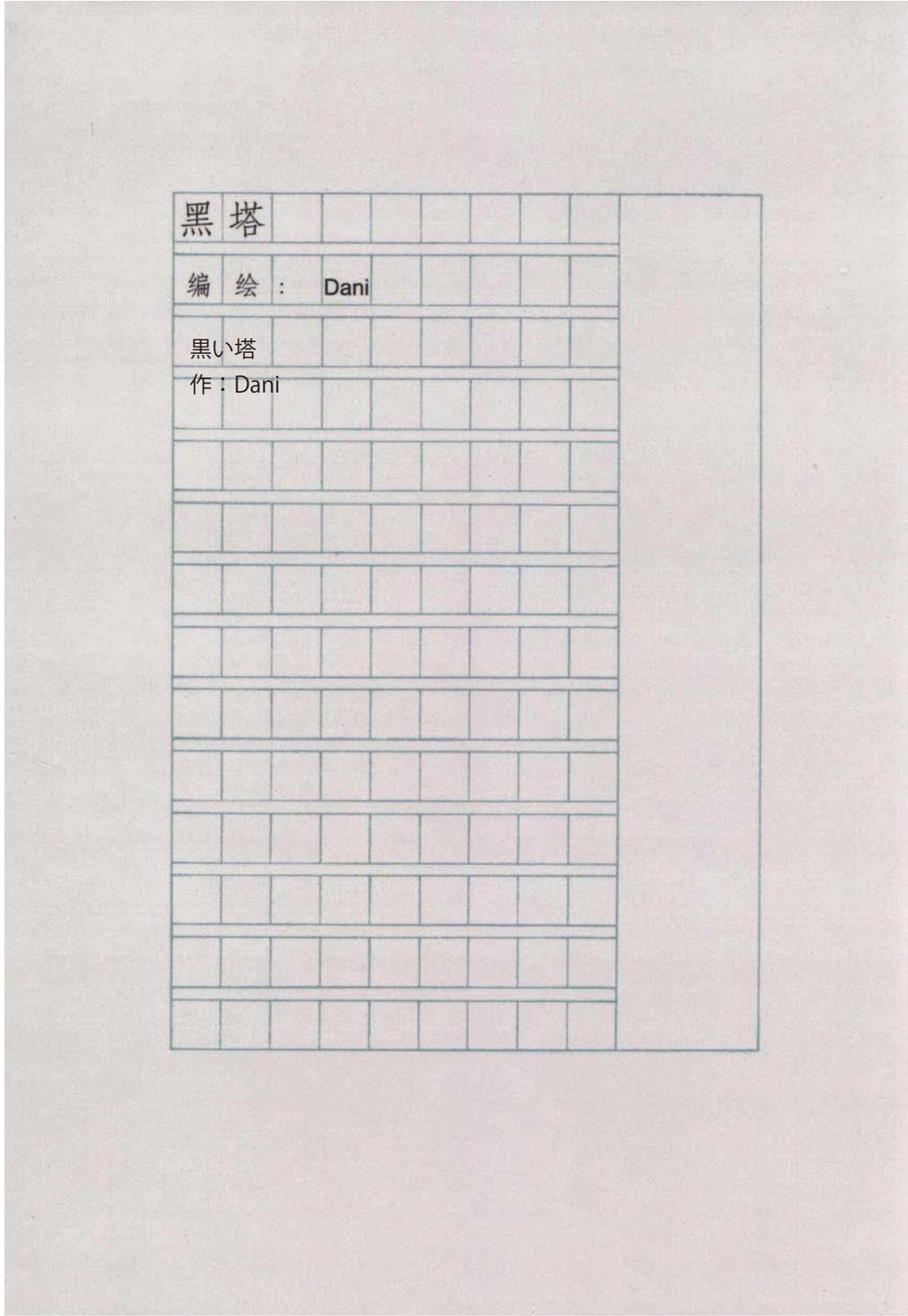
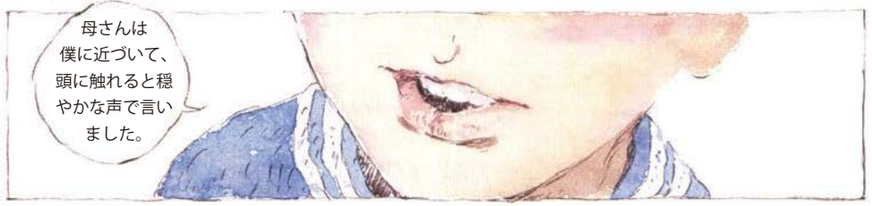


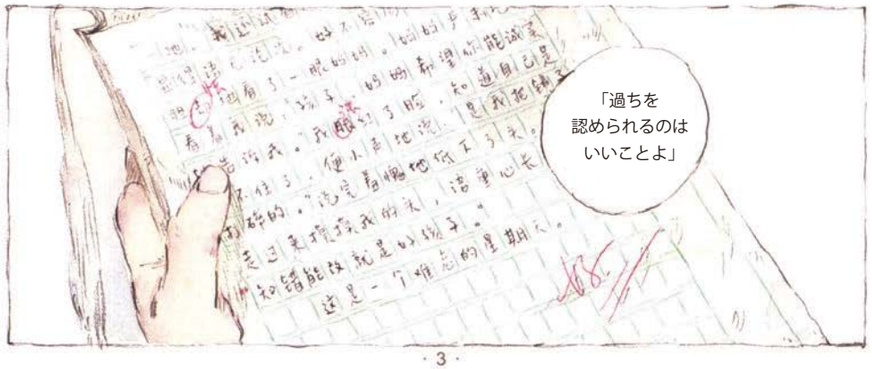
表 1

表 2

母さんは僕を見て、真剣な顔で言いました。「私には正直でいてほしいの」。

僕は隠し事はできないと気付いて、真っ赤になって小さな声で言いました。
「うん、僕だよ。僕が鏡を割ったんだ」。そして、恥ずかしさにうなだれました。


母さんは僕に近づいて、頭に触れると穏やかな声で言いました。


「過ちを認められるのはいいことよ」

No.234　黒塔　（中国）

忘れられない、ある日曜の出来事です。

No.234　黒塔　（中国）

いいわ、ヤン・ハオ。座って。いいかしら、皆さん。良い作文というのはこういうものをいうのよ。
出来事の経過を明確に描写し、最後にタイトルにたどり着く。
さあ、今週の宿題は今日の授業の内容をまとめて作文を書きなおすことです。
提出は来週よ。
そして、ヤン・ハオ。
あなたは書き直しの必要はありません。清書して誤字を直しなさい。
はい！
・6・

宿題は
終わったの？
うん。
ずいぶん
早いね…
おい、後ろに
なんかいるぞ、
気を付けろ！
・7・

No.234　黒塔　（中国）

ああーっ！
はあ、ここまで
来るの大変なのに。
めげるな。
もういっ
ちょ！
うーん、
今回は…ここまで
にした方がいいん
じゃないかな…
えーっ！
何で？
テレビが
熱をもっちゃ
うだろ！
退屈だなぁ…
・8・

このマンガ、もう何度も何度も読んだし
うちの父さんなら、宿題さえ終われば好きに遊ばせてくれるのにさ
僕は母さんに、週に１時間しか遊ばないって約束しちゃってるんだ。今朝もう遊んだからね
……なあ、金ある？
ない
金を手に入れて、ゲーセンで遊ぶってのはどう？
どうするのさ？

No.234　黒塔　（中国）

ふむ…
３元やろう。
ええっ、前回より多く持ってきたのに！
この鉄の出どころがわからないとでも思ったか！３元だけだ！
盗んだわけじゃないよ。家から持ってきたんだ。
ねえ、大丈夫？大人に告げ口されない？
心配するなよ、この人は大丈夫さ